



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 2018年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,147	1.6	188	17.2	110	35.0	144	10.5
2018年3月期第2四半期	2,113	7.2	227	14.9	169	81.7	130	105.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 206百万円 (%) 2018年3月期第2四半期 143百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	4.82	4.80
2018年3月期第2四半期	4.36	4.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,017	4,288	22.5
2018年3月期	18,888	4,450	23.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 4,281百万円 2018年3月期 4,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,750	7.3	360	10.5	200	29.9	230	121.6	7.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	30,000,000 株	2018年3月期	30,000,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	105,512 株	2018年3月期	68,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	29,894,559 株	2018年3月期2Q	29,931,916 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあるなど、各種政策効果もあって緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、貿易摩擦の懸念の台頭など今後の国内景気に与える影響について注意を要する展開となりました。

このような状況の中で、当社グループは、今年度からスタートした「中期経営方針 Get Ahead of the Future ～新しい時代の先へ～」に基づく諸施策に鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」における第4期開発をスタートさせ、先行開業を目指していた別棟の建設がほぼ完成し、引き続き新棟建設にも予定通り着手しました。また、サマーバーゲンや夏休み関連の企画を強化することで商業施設の運営は順調に進捗しました。ヘルスケア事業におきましては、夏物一般寝具が苦戦する一方、需要の底堅い健康ビジネス関連商品の企画・製造・販売に注力したことが奏功し、前年同期を上回るペースで進捗しました。繊維・アパレル事業におきましては、衣料品の購買意欲が高まらない中、OEM営業を強化したことで売上高と採算性の向上に一定の成果がありましたものの、ユニフォーム関係の動きが悪く苦戦しました。

なお、2018年8月31日付で資本金を1億円に減資したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、税金費用が改善しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は21億47百万円(前年同期比1.6%増)と増収、売上総利益は、健康ビジネスや商業施設賃料収入の採算面での改善がありましたものの、商業施設事業の第4期開発に伴う減価償却費53百万円の計上が響き、売上総利益5億82百万円(前年同期比6.0%減)となりました。これに、シンジケートローン実行に伴う登記費用等の一過性の費用を含む販売費及び一般管理費を控除した結果、営業利益は1億88百万円(前年同期比17.2%減)となり、さらに営業外費用でシンジケートローン手数料22百万円などを考慮した結果、経常利益1億10百万円(前年同期比35.0%減)となりました。その一方で、減資に伴い、繰延税金資産を追加計上したことによる法人税等調整額の計上や法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億44百万円(前年同期比10.5%増)と前年同期比増益の決算となりました。

なお、連結貸借対照表におきまして、資本金を1億円に減資したことに伴い、2018年9月末現在の利益剰余金の欠損額が4億62百万円(前期末比20億91百万円減)と大幅に改善しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、一部で猛暑や台風などの天候不順の影響があったものの、サマーバーゲンや夏休み関連の企画を強化し集客力向上に努めたことや一部賃貸収入の前倒し入金があったことから、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、賃料収入の採算改善がありましたものの、第4期開発実施に伴う減価償却費53百万円の計上が響き、前年同期比減益となりました。

この結果、商業施設事業の売上高は11億85百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は4億57百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、遠赤外線関連の健康寝具が伸長したため、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、夏物一般寝具が苦戦したことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、需要の底堅い健康ビジネス関連商品の企画・製造・販売に注力し採算性が向上したことにより、前年同期比改善しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は3億61百万円(前年同期比3.5%増)、営業損失は13百万円(前年同期は営業損失25百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、中国現地法人での中国内販ビジネスに支えられ、売上高は前年同期を上回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームの落ち込みにより売上高は前年同期を下回りました。損益面では、衣料部門での在庫処分に伴う損失計上もあり、前年同期比減益となりました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は5億99百万円(前年同期比1.3%増)、営業損失14百万円(前年同期は営業損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は190億17百万円(前期末は188億88百万円)となり、前期末に比べ1億28百万円増加(前期末比0.7%増)しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少76百万円、たな卸資産の増加64百万円、有形固定資産の増加1億41百万円であります。

負債の残高は147億29百万円(前期末は144億37百万円)となり、前期末に比べ2億91百万円増加(前期末比2.0%増)しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億10百万円、短期借入金の増加1億85百万円、長期預り保証金の減少56百万円、資本金の減少による適用税率の見直しに伴う再評価に係る繰延税金負債の増加2億86百万円であります。

純資産の残高は42億88百万円(前期末は44億50百万円)となり、前期末に比べ1億62百万円減少(前期末比3.6%減)しました。主な要因は、資本金の減少14億円、資本剰余金の減少5億3百万円、利益剰余金の増加20億91百万円、一部借入金利の固定化に伴う繰延ヘッジ損益の減少63百万円、資本金の減少による適用税率の見直しに伴う土地再評価差額金の減少2億86百万円であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、23百万円のプラス(前年同期比86.7%減)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1億10百万円、売上債権の減少97百万円、たな卸資産の増加64百万円、仕入債務の減少1億9百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億92百万円のマイナス(前年同期は9百万円のプラス)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得による支出2億72百万円、出資金の売却による収入80百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億89百万円のプラス(前年同期は1億83百万円のマイナス)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額1億25百万円、長期借入れによる収入3億円、長期借入金の返済による支出1億99百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は17億98百万円(前年同期比7.6%増)となり、前期末に比べ21百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月11日発表の予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日2018年11月8日公表の「2019年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,787,501	1,809,059
受取手形及び売掛金	543,261	466,741
たな卸資産	410,797	475,192
その他	218,777	110,134
貸倒引当金	△950	△510
流動資産合計	2,959,388	2,860,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,924,700	6,031,939
土地	9,331,375	9,331,375
その他（純額）	241,468	275,908
有形固定資産合計	15,497,544	15,639,222
無形固定資産		
投資その他の資産	8,181	6,373
投資有価証券	296,287	343,389
破産更生債権等	88,518	87,918
繰延税金資産	65,375	101,823
その他	58,659	63,004
貸倒引当金	△85,100	△84,544
投資その他の資産合計	423,741	511,590
固定資産合計	15,929,467	16,157,186
資産合計	18,888,855	19,017,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	504,597	393,619
短期借入金	399,400	584,400
未払法人税等	47,574	3,622
賞与引当金	35,412	35,206
株主優待引当金	21,000	—
その他	638,704	658,094
流動負債合計	1,646,688	1,674,943
固定負債		
長期借入金	8,469,400	8,510,200
長期預り保証金	1,663,472	1,606,651
再評価に係る繰延税金負債	2,211,637	2,498,384
退職給付に係る負債	266,374	269,648
資産除去債務	53,689	53,908
その他	126,657	115,283
固定負債合計	12,791,231	13,054,077
負債合計	14,437,919	14,729,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	100,000
資本剰余金	503,375	—
利益剰余金	△2,554,346	△462,509
自己株式	△7,206	△9,777
株主資本合計	△558,177	△372,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,081	6,237
繰延ヘッジ損益	△82	△63,960
土地再評価差額金	4,993,002	4,706,255
為替換算調整勘定	6,847	5,390
その他の包括利益累計額合計	5,004,849	4,653,923
新株予約権	4,264	7,146
純資産合計	4,450,935	4,288,783
負債純資産合計	18,888,855	19,017,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	2,113,985	2,147,439
売上原価	1,494,507	1,564,930
売上総利益	619,478	582,509
販売費及び一般管理費	391,988	394,068
営業利益	227,489	188,440
営業外収益		
受取利息	22	12
受取配当金	2,962	3,180
持分法による投資利益	—	2,992
その他	828	862
営業外収益合計	3,813	7,046
営業外費用		
支払利息	57,889	58,768
シンジケートローン手数料	2,000	22,166
その他	2,199	4,532
営業外費用合計	62,089	85,468
経常利益	169,214	110,018
税金等調整前四半期純利益	169,214	110,018
法人税、住民税及び事業税	40,068	3,562
法人税等調整額	△1,208	△37,546
法人税等合計	38,859	△33,983
四半期純利益	130,354	144,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,354	144,002

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	130,354	144,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,070	1,156
繰延ヘッジ損益	△331	△63,877
土地再評価差額金	—	△286,747
為替換算調整勘定	△808	△1,456
その他の包括利益合計	12,931	△350,925
四半期包括利益	143,285	△206,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,285	△206,922
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	169,214	110,018
減価償却費	196,781	244,948
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,302	△995
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,473	△205
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△16,338	△21,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,564	3,273
受取利息及び受取配当金	△2,985	△3,192
支払利息	57,889	58,768
持分法による投資損益 (△は益)	—	△2,992
売上債権の増減額 (△は増加)	11,028	97,478
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△32,673	△64,699
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	975	600
仕入債務の増減額 (△は減少)	72,853	△109,941
預り保証金の増減額 (△は減少)	△79,308	△69,820
その他	△120,913	△125,219
小計	257,129	117,021
利息及び配当金の受取額	2,985	3,192
利息の支払額	△57,613	△58,652
法人税等の支払額	△24,583	△37,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,917	23,645
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△48,059	△272,864
出資金の売却による収入	57,022	80,824
その他	371	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,334	△192,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	125,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△169,200	△199,200
リース債務の返済による支出	△13,179	△12,807
自己株式の増減額 (△は増加)	△67	△9
その他	△1,000	△23,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,447	189,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	△551	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,252	21,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,668,446	1,777,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,671,698	1,798,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年6月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、2018年8月31日付で繰越利益剰余金の欠損填補を行った。

この結果、資本金が1,400,000千円、資本剰余金が503,375千円それぞれ減少し、利益剰余金が1,903,375千円増加している。

なお、これによる株主資本の合計金額への影響はない。

(追加情報)

1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示している。

2. 重要な事業の譲受

当社は、和田哲株式会社の事業の一部譲受けに関する基本合意書に関して、2018年9月26日開催の取締役会において、事業譲受け契約締結予定日を下記の日程へ再度変更することを決議した。

(変更前) 2018年7月末～9月末まで(予定)

(変更後) 2019年3月末まで(予定)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,172,290	349,479	592,215	2,113,985	—	2,113,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	108	336	△336	—
計	1,172,518	349,479	592,323	2,114,321	△336	2,113,985
セグメント利益又は損失(△)	466,574	△25,564	△2,245	438,764	△211,274	227,489

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額211,274千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,185,885	361,599	599,954	2,147,439	—	2,147,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	66	294	△294	—
計	1,186,113	361,599	600,020	2,147,733	△294	2,147,439
セグメント利益又は損失(△)	457,020	△13,633	△14,974	428,412	△239,972	188,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,972千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。